

<白金標準、新甫 6 月限の発会以降は出直し相場・・・>



(出所：オアシス)

16日に中国国務院は会議を行ない景気対策に対する期待感が高まりを見せたが、李強（リーチアン）首相が欧州を訪問中であり、週明け19日景気対策の発表がなかった事から失望の売りにアジア株は売られている。また中国人民銀行は政策金利にあたるローンプライムレートを0.1%の引き下げを発表したが、更に市場の失望を強めている。また何立峰副首相が「中国経済は望ましい状態にある」と発言を行なっているが、景気対策に対する期待感が強く、端午節の連休を前にしても中国市場の株価は持ち直す事が出来なかった。

そのため中国の予想外の景気低迷から供給不足予想を根拠に4400円で底固めを見せた白金標準先物は、需要の見直しで4400円を割り込むと週末には4163円まで下値を試している。ただ中国の端午節明けの26日から29日に掛けて上海市で上海プラチナウィーク2023が開催され、28日には来年広州先物取引所でプラチナとパラジウムの取引が開始されるにあたり記念講演が行われる。そのため先週に274円の大幅下落を行なった白金標準先物は、新甫6月限の発会も控えるなど274円の下落に対する巻き戻しを強めた値動きを行って来る可能性が高まると思え、28日の新甫6月限の安値発会は強気の対応が妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが下げ続けており、RCIにおいても短期が切り下げ、長期は底張りを続けるなど、基調の転嫁を示す事は出来ていない。そのため更に下値を試す可能性は排除できないと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,250,000 円(2023 年 6 月 26 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 6 月 26 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>